

令和 4 年度 施策評価表

施策	1305 林業の振興	施策担当部	産業振興部	部長	下玉利 輝幸
		施策担当課	農林水産整備課	課長	福田 謙一郎
施策の方針	森林資源を有効活用するとともに、森林の持つ公益的機能の保全に努める。また、林業経営の安定化を図る。				
関連するSDGsのゴール	    				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 素材生産量	m ³	7,420	8,000 7,108	8,300	8,700	9,000	9,400	88.9%	75.6%
② 森林経営計画の作成区域数	林班	46	47 46	47	47	47	47	97.9%	97.9%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

素材生産量については、主伐を主に令和3年度の森林施業の実施に人員を要したため、木材量が目標値に達成することができなかった。
森林経営計画の作成区域数については、山林地権者と森林組合での合意形成に時間を要したため、目標値に達成することができなかった。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	50,962	56,894	65,949	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	3,858	4,020	6,858	
	地方債	0	0	0	
	その他	16,145	21	2,353	
	一般財源	30,959	52,853	56,738	
	人件費	19,103	25,967	—	
フルコスト	70,065	82,861	—		

施策の概要（細施策）

130501	森林資源の活用	林業の持続的かつ健全な発展を図るため、市有林や私有林を計画的に伐採し、有効活用するとともに、新たな植林を行い、将来にわたり活用できる資源となる森林を目指します。
130502	公益的機能の保全	水源かん養、土壌保全、土砂災害防止、大気保全など、森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させていくため、森林病虫害の駆除、山林火災や無秩序な伐採の防止などに努めます。
130503	林業経営の安定化	林業事業体の経営安定化を図るため、経営の規模拡大、作業の機械化や配分が開始される森林環境譲与税を活用した人材育成・担い手の確保による経営の合理化など、林業経営基盤の強化を促進します。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

市有林及び私有林において、本来、森林が持つ水源涵養、山地災害防止などの公益的機能を十分に果たすためには、間伐等の森林施業を計画的に行っていく必要がある。現在、森林経営計画に基づき間伐や主伐などの森林施業を実施しており、指標とする素材生産量の目標値において、市有林について令和3年度では830m3（計画比120%）の実績となり達成できた。しかし、私有林では、主伐を多く行い、合わせて再造林に人員を要したことから、予定していた間伐が進まず、素材生産量の計画量に及ばなかった。私有林及び市有林を含めた大村市全体の素材生産量についても目標値を下回る結果となったため、森林組合と情報共有を図り、作業効率の向上につながる取り組みなど行う必要がある。

私有林において、所有者の林業経営に対する意欲を向上させるために、国から譲与される森林環境譲与税を活用し、森林所有者への意向調査などの作業を進め、経営管理権集積計画を策定し間伐等の森林施業も合わせて実施していく必要がある。現在、森林経営計画未策定である武留路地区においては、上記の取り組みと合わせ、森林所有者と森林組合で合意形成を進め、新たに森林経営計画の認定を目指しているが、森林所有者が山林に関心がないなど進捗に影響しているため、林業経営に対する意欲を向上させるような普及啓発など行う必要がある。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

私有林及び市有林の主伐にコスト（人員）がかかり、間伐等が進まず素材生産量に影響を及ぼしている現状から、森林組合と協力し、新規就労者の確保や担い手の育成に取り組んでいく。

森林経営計画の認定については、森林組合と市で協力し生産性を高める山林にするなど、森林所有者に対して山林に関心をもってもらえるような取り組みを進めていく。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	